表 BENZA
裏 −Ⓐ−

＊下線部分は、2010年1月に改訂しました。

使用に際して、この説明文書を必ず読むこと。また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。

タケダ

ベンザブロックIP

イブプロフェン配合　かぜ薬

第2類医薬品

特　徴

- イブプロフェンの解熱・鎮痛作用により、かぜによる発熱・さむけ（悪寒）・頭痛・のどの痛みなどに効果があります。
- 6種の成分がバランスよくはたらいて、かぜのいろいろな症状を緩和するかぜ薬です。
- 柑橘類などに含まれるビタミンPの一種であるヘスペリジンを配合しています。
- のみやすい小型の白色〜帯黄白色のカプレット（錠剤）です。

⚠ 使用上の注意

してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

1.次の人は服用しないこと

（1）本剤による過敏症状（発疹・発赤、かゆみ、浮腫等）を起こしたことがある人。
（2）本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
（3）15歳未満の小児。

2.本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去たん薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗り物酔い用薬、アレルギー用薬、催眠鎮静薬）

3.服用後、乗り物または機械類の運転操作をしないこと

（眠気があらわれることがある。）

4.授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること＊

5.服用時は飲酒しないこと

6.5日を超えて服用しないこと

相談すること

1.次の人は服用前に医師または薬剤師に相談すること

（1）医師または歯科医師の治療を受けている人。
（2）妊婦または妊娠していると思われる人。
（3）高齢者。
（4）本人または家族がアレルギー体質の人。
（5）薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
（6）次の症状のある人。
　高熱、排尿困難
（7）次の診断を受けた人。
　甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
（8）次の病気にかかったことのある人。
　胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

2.次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師または薬剤師に相談すること

（1）服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症　状
皮　ふ	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎
精神神経系	めまい
その他	排尿困難、むくみ、目のかすみ、耳なり

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症　状
シ ョ ッ ク（アナフィラキシー）	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。

（裏面へ続く）

症状の名称	症　　状
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
腎　障　害	尿量が減り、全身のむくみおよびこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデスまたは混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）
間質性肺炎	空せき（たんを伴わないせき）を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。 （これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。）
ぜんそく	

（2）5～6回服用しても症状がよくならない場合（特に熱が3日以上続いたり、また熱が反復したりするとき）

3.次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師または薬剤師に相談すること

便秘、下痢、口の渇き

効　能

かぜの諸症状（発熱、悪寒、頭痛、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、関節の痛み、筋肉の痛み、せき、たん、くしゃみ）の緩和

用法・用量

次の量を、食後なるべく30分以内に、水またはお湯で、かまずに服用すること。

年　　齢	1回量	1日服用回数
15歳以上	2錠	3回
15歳未満	服用しないこと	

＜用法・用量に関連する注意＞

（1）用法・用量を厳守すること。

（2）カプレット（錠剤）の取り出し方

図のようにカプレットの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること。（誤ってそのままのみこんだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。）

成　分

6錠（1日服用量）中

はたらき	成　　分	含　量
熱をさげ、痛みを和らげる	イブプロフェン	450mg
鼻水・くしゃみを和らげる	クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg
せき・たんを和らげる	dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg
せきを和らげる	ジヒドロコデインリン酸塩	24mg
頭痛を和らげる	無水カフェイン	75mg
ビタミン類（ビタミンPの一種）	ヘスペリジン	90mg

添加物：乳糖水和物、クロスカルメロースNa、ヒプロメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、セルロース、ステアリン酸Mg、酸化チタン、カルナウバロウ、サラシミツロウ、トウモロコシデンプン

保管および取扱い上の注意

（1）直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。

（2）小児の手の届かない所に保管すること。

（3）他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。

（4）使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

（5）箱の「開封年月日」記入欄に、内袋（アルミの袋）を開封した日付を記入すること。

（6）一度内袋（アルミの袋）を開封した後は、品質保持の点から開封日より6ヵ月以内を目安になるべくすみやかに服用すること。

包　装

［PTP品］12カプレット（錠）、18カプレット（錠）、30カプレット（錠）

本製品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い申しあげます。

武田薬品工業株式会社　ヘルスケアカンパニー「お客様相談室」

〒103-8668　東京都中央区日本橋二丁目12番10号　☎0120-567087

受付時間：9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

●タケダ健康サイト（パソコン用）　http://takeda-kenko.jp

●タケダ健康モバイルサイト（携帯電話用）　http://tkdm.jp

製造販売元　武田薬品工業株式会社

〒540-8645　大阪市中央区道修町四丁目1番1号